

令和3年度 事業計画

障がい者支援施設 内潟療護園

1. 事業内容

(1) 生活介護（定員 30 名）

常に介護を必要とする人に、日中、入浴、排せつ、食事の介護、生活等に関する相談・助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動または生産活動の機会を提供する

(2) 入所支援（定員 30 名）

施設に入所する人に、夜間や休日に入浴、排せつ、食事等の介護、生活等に関する相談・助言その他の必要な日常生活上の支援を行う

(3) 短期入所（定員 7 名）

自宅で介護する人が病気などの理由により介護できない場合に、施設に短期間入所してもらい、入浴、排せつ、食事のほか必要な介護を行う

2. 事業方針

- (1) 利用者一人ひとりの可能性を見出し、ニーズに沿った個別支援計画と質の高いサービスの提供を目指す
- (2) 職員一人ひとりが「目標にしたい、お手本にしたい」と思われるようなロールモデルの存在であることを評価し合い、互いに能力を高めて利用者の生活の質の向上につながる生き活きとした施設・職場づくりを目指す
- (3) 利用者・家族・地域住民・職員等が風通しの良い関係で、笑顔で暮らせる地域社会づくりを目指す

3. 事業計画（目標）

- (1) 多様化する介護ニーズに対応していくために、高い知識と技術の習得、職員のスキルアップを図る
- (2) ノーリフトの推進及び介護ニーズに対応できる福祉機器の導入により、利用者の安全、安心、安楽な住環境を提供するとともに、職員の腰痛対策・予防につなげる
- (3) コロナ禍の中、日中活動の幅を広げ多くの利用者が施設内でも楽しめるように取り組む
- (4) 地域と連携した災害対策を推進するために、関係機関と連携を図るとともに地域住民との協力体制の構築と、地域と連携した避難体制等確立に取り組む

4. 各部署の取組み

	部署名	取組内容
1	福祉課	①重い障がいがあってもひとりの人として人権が尊重され、必要な介護を受け、快適な住環境のもとでその人らしい生活を送れるよう支援する。 ②サービスの質の向上のために職員体制の充実と健康管理に努め、業務の見直しと利用者のニーズに沿った個別支援サービスの提供に取り組む。
2	医務	①利用者が安心して生活を送れるように、定期的な回診や健診を継続して実施し、体調変化の早期発見と早期対応に努める。 ②地部署との連携を図り必要な情報の提供・共有により、利用者一人ひとりに適切な対応ができるよう努める。 ③感染症対策を重点に取り組む。
3	機能訓練	理学療法：個別支援計画に基づいて、理学療法士福島先生の指導と助言を受けながら、各部署と連携を図り、その人らしい生活ができるよう支援していく 言語聴覚療法：利用者の嚥下状態に合わせたとろみ剤の量や、食事形態の見直し・検討を他職種と連携し迅速に行う。 個別訓練では、利用者の機能に合わせたものを提案し、機能の維持に努める
4	給食	①毎日の食事をおいしく、楽しく食べていただけるよう、飽きの来ないメニュー作り。季節を「五感」で楽しめる料

		理の工夫 ②日々の楽しみの一つである食事を、利用者一人ひとりの食事形態に合わせ健康を維持できるような栄養バランスを考えたメニュー作り ③食中毒の予防、調理の基本と衛生管理の徹底。安心安全な食事提供
5	営繕	①利用者が快適な生活が送れるように施設内外の環境を整備する ②消防訓練にできるだけ多くの利用者に参加していただき、防災に対する意識の向上を図る ③救命講習を受講し、利用者の急変時に迅速に対応できるように応急手当のスキルアップを図る

5. 各委員会の取組み

	委員会名	取組内容	開催日	参加者
1	人権擁護委員会 (虐待防止委員会)	1年を通して ①「障がい者支援施設内湯療護園倫理規定」の項目内容について話し合う ②施設内勉強会「虐待について」の資料作成 ③「虐待について」施設内勉強会実施 ④「職員セルフチェックリスト」アンケート実施(2回)集計 ⑤「職員セルフチェックリスト」集計結果について話し合い検討する	隔月	課長、各委員
2	身体拘束廃止委員会	「身体拘束廃止に関する指針」に従って、身体拘束を行わないような支援を考えて実施できるようにするため、定期的に委員会を開催して話し合いを行う。また年2回の研修会を主催する。	隔月	各委員
3	腰痛予防委員会 ノーリフト推進委員会	①福祉機器を用いてノーリフトを推進していく。 ②リフターの台数を3台へと増やしたことにより、今まで以上に業務効率を向上させ、職員の腰痛予防に努め、利用者の移乗を安心・安全に行っていく。 ③最新の福祉機器を導入し、さらなる業務効率の向上・職員の腰痛予防、利用者への安心を届けていきたい	奇数月	医務、福祉課主任、委員
4	おいしい食事委員会	医務・言語聴覚士・給食と連携をとりながら、安全に食事ができるよう、食事場面の観察と食事形態の見直しを随時行っていく。また、楽しく食事ができるよう食席表の見直しも随時行う。体重管理をし、個々に合った食事摂取量を維持する。	偶数月	医務、栄養士調理員、委員
5	リスクマネジメント委員会	今まで発生してきたインシデント・アクシデントについて再度見直し、今後役立てられるようにPDCAサイクルを利用する。PLAN(リスクの特定、分析、計画)→DO(対策の実施)→CHECK(評価)→ACTION(改善)。これらを用いて、利用者の生活が安全で充実し、また職員も安心して業務を行えるように取り組む	奇数月	福祉課主任 医務、委員
6	入浴委員会	全利用者が、快適・安全に入浴できるよう、問題点改善に向けての話し合いや取り組みを行うとともに、職員の腰痛予防にも努めていく。	隔月	各委員
7	排泄委員会	利用者が快適に生活できるよう問題点について話し合い、一人ひとりに合った支援を行う	隔月	各委員
8	施設サービス検討委員会	施設サービスにおける手順書・環境等の見直しや改善の取組みを行う。また、利用者の生活の質の向上のためにアンケートを実施していく	隔月	各委員
9	感染予防対策委員会	各感染症についてのマニュアルの作成・見直し等を行い、感染症発生時の職員の対応について研修する。	不定期	施設長、看護師 各委員
10	安全衛生委員会	①職員健康診断の申込みの手続きを実施し、結果に沿って助言等を行う。また、健康管理に対する意識向上のための取組み、休養しやすい環境を整える。 ②施設内外の作業事故防止のため、随時必要な情報を共有する。	毎月	産業医 管理者、委員

6. 各係の取組み

	係名	取組内容
1	研修・勉強会	施設外研修等で得た知識を周知してもらうため、研修の企画や参加を計画し、関係法令の改正内容や新しい技術の習得を目指す。また、地域貢献の取組み等も学び、施設内外の環境改善を図る。
2	機関誌・写真	施設内での行事や取組みを、家族の方々へ情報提供する。また、行事の際に写真撮影をして施設内に掲示する
3	地域貢献・福祉教育	湧きつぼ清掃 ：地域の宝である湧きつぼを、地域の方々と協力し維持していくことで地域に貢献する

		つがる市ワークキャンプ：中高校生に施設の利用者との交流や福祉の仕事体験を通じて、障がいや福祉の仕事への理解を深めていただき人材確保につなげていく 武田小学校交流会：交流を通じて、利用者の方々も生きがいをもって暮らしていることを理解し、障がいに対する理解を深めるとともに、身近に感じてもらえるよう取り組む 薄市小学校行事参加：薄市小学校の行事に参加させていただくことで、以前からある地域との交流の機会を絶やさず深めていく めいせい祭への参加：母校の学園祭に参加することで、同窓生や後輩、先生方と交流し、施設では味わえない刺激を受け、気分転換を図る ※新型コロナウイルスにより未だ自粛傾向のため実施のめど立たず
4	外出・帰省	外出：利用者が可能な限りドライブ外出や買物外出を計画し、少しでもリラックスした生活を送れるようにする。また施設生活とのメリハリをつけ生活意欲の向上も図る 帰省：自宅へ帰省することが難しい状況であるからこそ、日々の暮らしや時間を大切に過ごしていただくために、リモート面会や電話等を用いて利用者と家族がより親密に過ごせるようにする 出張販売：利用者に複数回の外出する機会を設け、買物する中で利用者が興味のあるものを見たり、購入することで楽しみを増やしてメリハリのある施設生活を送れるようにする。
5	レクリエーション	レクリエーション：オセロ・花札・ぬり絵等を利用者と職員で楽しみ交流を深める ふれあい作品展：職員と共に作品作りをし、毎年展覧会に出店している（前年度は新型コロナにより中止） アニマルセラピー：動物とふれあい、癒しの場を提供する（前年度は新型コロナにより中止）
6	個別生活支援計画	①支援プロセスの管理を行い、利用者一人ひとりがその人らしい生活を実現できるよう取り組んでいく ②サービス提供者（生活支援員等）への指導、助言

7. 施設行事

月	行事名	内容等
4月	花見会	昨年度は新型コロナウイルスの影響で合同花見会はなく施設内で行った。新型コロナウイルスの影響で施設内開催の場合は、施設内ホールに桜を飾り、利用者・職員でビンゴ大会や豪華な食事で花見会を楽しみたい
5月	薄市小学校運動会見学	子供たちの一生懸命な姿を見て応援し、一緒に楽しむ
7月	夏祭り	施設駐車場にて祭りを開催。家族の参加も募り、ゲストや催し物等で、祭りを楽しむ。
8月	つがる市ワークキャンプ	車イス、リフター、機械浴の体験。レクリエーションを通じてコミュニケーションを図る
9月	武田小学校交流学習	車イス掃除・乗車体験と一緒に作品作りを行い、コミュニケーションの機会を体験する
10月	武田小学校交流学習	同上
11月	薄市小学校学習発表会	一生懸命練習した子供たちの歌やダンスを見学して楽しむ。
12月	クリスマス会	施設ホールでオードブル形式の食事をしながら、プレゼント交換や大抽選会、その他催し物を楽しむ。 (新型コロナウイルスにより家族参加は未定)
1月	薄市小学校もちつき会	子供たちと一緒にもちつきを楽しみ、つくたてのおいしいお餅と一緒に食べる
2月	書初め大会	書道クラブとして利用者に自由に書初めをしていただく
	出張販売	冬期間、買い物外出ができないため、地元の商店に來園していただき、品物を選んで買い物を楽しむ。 コロナ禍に伴い商店の方が施設に來園することが難しくなっている。その際は利用者が楽しみにしているバレンタインデー・ホワイトデーに合わせて利用者に聞き取りし、チョコやクッキー、食べたい物を注文する。チョコやクッキーは渡したい職員・利用者のところへ本人と一緒に届け、少しでも気分を味わっていただく。
	節分・豆まき会	その年の年男・年女の利用者・職員に豆をまいていただき厄払いと健康を願う。その後はおやつとしてお菓子を皆でいただく。
毎月	利用者懇談会	利用者を主体（司会進行）とし、利用者一人ひとりの要望や意見を聞いて検討する
	レクリエーション	お菓子作りやカラオケ等を開催し、楽しみを持っていただく
	絵本読み聞かせ	ボランティアの方（2名）に來園していただき、絵本の読み聞かせや手遊びや童謡を歌うことで、癒しやリラックス効果を得る。
隔月	書道クラブ	利用者に季節に合った文字を選んでいただき、思いや表現を書いていただく

※学校・ワークキャンプ関係：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティア受け入れや地域活動の自粛が続くことを予

測し、従来とは違う形での地域貢献活動を実施し、地域やボランティアとの絆をより深めることを目的に活動する。各小学校、つがる市ワークキャンプ参加校へ絵葉書や写真、手紙等を作成し、感謝の気持ちやお互いのエール、再会を楽しみにしていることを伝える。

8. 職員会議

	会議名	内容等	開催日	参加者
1	職員会議	施設長及び各部署並びに各係からの連絡。研修内容の伝達。関係事項の周知。各種事案の検討等	月1回	全職員
2	給食会議	メニューの検討。各部署、利用者からの要望、意見の検討	月1回	施設長、各担当
3	福祉課ミーティング	業務の見直しや改善・利用者の支援内容等を話し合い、サービスの向上に努める	月1回	福祉課
4	支援検討会議	個別生活支援検討書を作成し、参加者全員で情報を共有し、具体的支援を検討する。	前期・後期 年2回	利用者本人 各職種等
5	リハビリテーション実施計画会議	リハビリ加算対象者の計画内容を共有し、利用者の身体機能、または生活能力の向上を目指す	3ヵ月毎	各職種等
6	気づきのお披露目会	職員どおしの「気づき」を披露し合うことで、普段から「気づき」の意識を高める。また「気づき」により職員のスキルアップを目的とする	月1回	福祉課
7	自然排便を促す検討会	毎日排便チェックを行い、排便表をデータ化して現状を把握し、多職種で詳細な情報共有や対応の検討を行い、一人でも多く浣腸の回数を減らすことができるよう取り組む	月1回	各職種等

9. 外部研修（前年度研修を参考にしています。）

月	研修名	内容	開催地
5月	障害児・者福祉施設新任職員研修	障害児・者福祉施設新任職員を対象に、業務上必要な知識の習得及び社会福祉施設職員としての自覚と意識の確立を目指す	青森市
	介護基礎研修（10のテーマ）	さまざまな介護の技術と知識を習得し、介護サービス全体の質の向上を図る（全5回）	青森市
7月	一人ひとりが取り組む感染症対策	感染に関する基礎的な知識と感染防止対策について学び、現行の確認、見直しにつなげる	青森市
	介護スキルアップ研修（ターミナルケア）	より生活に密着した介護を求め、選ばない、断らない、支えきる、私たちのケアについて学ぶ	青森市
	キャリアパス対応生涯研修過程 初任者コース	福祉・介護職員が、自らのキャリアアップの道筋を描き、それぞれのキャリアパスの段階に応じて共通に求められる能力を段階的・体系的に習得する	青森市
	栄養・食育マネジメントセミナー	食にかかわる様々な課題を認識し、栄養バランスや食の安全が確保されるよう知識を深める	青森市
8月	強度行動障害支援者養成研修	入所・通所・居宅・相談等、強度行動障害者の障害福祉サービスに携わるあらゆる職員を対象に、今後従事者として身に着けるべく基礎的知識と初歩的な支援計画の立案方法を学ぶ	青森市
	福祉事業者のための働き方改革研修会	働き方改革関連法を含めた労働法の理解と対応方法を学ぶ	青森市
	緊急時の介護	安心して暮らせる生活空間を提供できるよう、緊急時の対応方法を学習する	青森市
9月	介護スキルアップ研修	持ち上げない・引きずらない、起居移乗の助動動作を学ぶ	青森市
10月	障害児・者支援セミナー	障害児・者に関する支援の在り方を考える	青森市
	事務担当者研修	障害者支援施設事務担当者共通の課題について実践報告と検討	弘前市
	カウンセリング研修（初級）	職場で使えるカウンセリングの基礎または応用を演習を交えて学ぶ	青森市
	コーチング特別講座	コーチングの知識と技術を学ぶ	青森市
	季節性ウイルス感染症に備える	季節性ウイルス性感染症を疑うアセスメントの視点を学び、感染拡大防止に活かす	青森市
	認知症タイプ別ケア研修会	認知症の分類とそれらの特徴を理解し、認知症の人に寄り添うケアができることを目指す	青森市
11月	障害者虐待防止権利擁護研修会	虐待防止の取り組みと、万が一虐待が発生した場合の適切な対応方法を修得し、虐待防止体制	青森市

		の見直しや指導に生かし、障がい者の権利擁護の推進を図る	
	認知症介護研修会	認知症について知識と技術を学ぶ	青森市
	キャリアアップ講習・能力開発啓発セミナー	人材育成の必要性、スタッフのモチベーションの維持のため、リーダーはどうあるべきかを学ぶ	青森市
	褥瘡予防のためのスキンケア	褥瘡ケアにおける予防の重要性を理解し、ケアの実際を学ぶ	青森市
	介護技術レベルアップセミナー	介護専門職員として必要な技術の習得を目指す	青森市
12月	リスクマネジメント研修会	リスクマネジメントに関する視野を広げ、日常のリスクについてあらゆる角度から多面的に考えられるよう、外部の視点を学ぶ	青森市
	介護スキルアップ研修（認知症ケア）	認知症の人の想いや具体的ケアを学ぶ	青森市

10. 内部研修

月	研修名	内容	講師
4月	令和3年度研修アンケート	研修計画のアンケートを実施する	
	新任者研修	新年度入職者に対する研修	
5月	身体拘束について	身体拘束における基本的な知識について	身体拘束委員会
6月	排泄介助について（オムツについて）	オムツの機能、正しい着用について	排泄委員会
7月	救急法	AEDを用いた心肺蘇生法	木村主任
8月	防犯研修	不審者等の対策について	中里駐在所署員（予定）
9月	感染症防止について（実践研修）	新型コロナ、ノロウイルスデモ実践研修	感染予防委員会
10月	認知症ケアについて	認知症について	未定
11月	救急法	AEDを用いた心肺蘇生法	木村主任
12月	虐待防止について	虐待について	人権擁護委員会
1月	身体拘束について	身体拘束を行わない取り組みをする	身体拘束委員会
2月	食事介助について	正しい食事介助について	其田 ST
3月	まとめ		

※ 虐待・身体拘束・認知症ケア・感染症防止・防犯研修は毎年実施する

※ 身体拘束については年2回確実に行う。1回目は新年度3か月以内に必ず行う

※ 認知症ケアについての実施月は未定。その他にも変動あり

令和3年度 事業計画

障がい者支援施設 第二うちがた

1. 事業内容

(1) 生活介護（定員 30 名）

常に介護を必要とする人に、日中、入浴、排せつ、食事の介護、生活等に関する相談・助言、その他の必要な日常生活上の支援、創作活動の機会を提供する。

(2) 入所支援（定員 30 名）

施設に入所する人に、入浴、排せつ、食事等の介護、生活等に関する相談・助言、その他の必要な日常生活上の支援を行う。

(3) 短期入所（定員 8 名）

自宅で介護する人が病気や冠婚葬祭などの理由により介護できない場合に、施設に短期入所してもらい、入浴、排せつ、食事のほか必要な介護を行う。

新型コロナウイルスが収束するまでは、発生状況を考慮しながら、利用者、家族の感染予防策へのご協力をもとにサービス提供を継続していく。

2. 事業方針

- (1) 利用者、家族、地域住民、職員等が風通しのいい関係で、笑顔で過ごせる地域社会づくりを目指す
- (2) 利用者の重度化、高齢化や医療的ケアを必要とする重症心身障害児者の多様化しているニーズに応えられるよう高い知識と技術を習得する
- (3) 一人ひとりの可能性を見出し、利用者主体の原則に立ち、自己決定を尊重し、ニーズに沿った個別支援と質の高いサービスの提供を行っていく
- (4) 新型コロナウイルス感染症の予防を徹底しながら、今年度内の行事や活動に取り組んでいく

3. 事業計画（目標）

- (1) 広域な地域のニーズ把握と関係機関との連携、多様化している地域ニーズに対応できるように職員のスキルアップを図る
- (2) 喀痰吸引等ケア体制整備を継続的に行う
- (3) 移乗リフト、移乗シートを活用、安心・安全・安楽な移乗を実践し、腰痛予防を図っていく
- (4) 新型コロナウイルス感染症対策（ワクチン接種等）を講じ、利用者・職員が安心して過ごせる環境を整える

4. 各部署の取組み

	部署名	取組内容
1	福祉課	①重度化や高齢化等多様化するニーズに応え、その人らしい生活が送れるよう努める ②利用者一人ひとりのニーズに沿った個別支援計画実現に向け、サービスの統一を図り、質の高いサービス提供に努める
2	医務	①利用者が安心して生活を送れるように、職員、利用者の健康管理として初期症状の確認、異常の早期発見に努める ②感染予防に対して高い意識をもって安全に対応できるよう指導、実践に努める
3	機能訓練	理学療法 ：上田法の継続と理学療法士の適時の指導を基調とし、一人ひとりに沿った手法で機能維持・向上に努める 言語聴覚療法 ：利用者の機能や、その時の状態に合わせた食事形態やとろみ剤の量の見直し・検討を行う。他職種と連携して機能維持に努め、残存機能を活かした訓練課題の提供、実施を行う

4	給食	①食事が毎日の楽しみになるように、利用者の要望を積極的に取り入れたメニューを計画する ②部署との連携を図り、軟菜食を提供しながら食事形態改善に努める
5	営繕	①利用者が快適な施設生活を送れるように施設内の備品の修理・修繕を行い、建物周辺の環境を整えていく ②利用者の送迎や外出が安全に行われるようにリフト車両の点検・整備等の管理を行う。

5. 各委員会の取組み

	委員会名	取組内容	開催日	参加者
1	権利擁護委員会	権利擁護ガイドライン、障害者虐待防止法マニュアルの周知、研修企画、その他事案の検討を行う	月1回	園長 各委員
2	施設サービス改善委員会	施設サービス計画に基づき、より良いサービス提供を心がけ実施できるよう、マニュアルの周知、管理を行い、見直し改善をしていく。	年2回	各委員
3	行事委員会	花見・夏祭り・クリスマス会・もちつき会、その他季節の行事をコロナ禍でも楽しめるよう企画実施	不定期	各委員、利用者の会代表
4	食事検討委員会	食事の環境整備や事案の検討、給食会議に参加、情報共有しながらより良い食事提供を考える	月1回	各委員
5	リスクマネジメント委員会	日常生活のリスクアセスメントを行いリスク対策に努める。ヒヤリハット・アクシデントの分析、具体的な改善対策を検討する	月1回	園長 各委員
6	入浴検討委員会	入浴の方法や手順の確認、個々に合わせたケア検討を行う。浴室環境の管理・改善を行う	隔月1回	各委員
7	排泄委員会	個々に合わせたケアの実践、検討を行い快適に過ごせるようマニュアル管理を行う	隔月1回	各委員
8	口腔ケア検討委員会	口腔ケアを通じて口腔環境を整え ①「楽しく」「おいしく」「安全に」食事ができ ②誤嚥性肺炎の予防に努める 一人ひとりの口腔状態の把握、ケアの手法等マニュアル管理、見直しを行う		
9	感染予防対策委員会	①感染予防として、感染症に対する意識や予防方法、ガウンテクニックなど継続して定期的に指導、実践していく ②利用者、職員の検温と体調管理をチェックし初期症状の確認、早期発見、早期治療に努める ③飛沫感染、接触感染を重点的に、予防の取組みをする ④感染予防のマニュアル管理、見直し、研修を行う ⑤コロナワクチンの接種について、利用者・職員ともに安全、かつスムーズに接種できるよう管理する	隔月1回	園長、各委員
10	身体拘束廃止委員会	「身体拘束廃止に関する指針」に従って、安易な身体拘束を行わないことによって、利用者の人格の尊厳を守ることを目的とする。年2回研修会の実施と、新任職員には2カ月以内に研修を実施する	隔月	園長、各委員
11	交通環境検討委員会	電動車椅子での単独外出を安全に楽しめるよう路上講習、検定、許可証発行。バリアフリー環境の情報収集を行う。	適時	各委員
12	虐待防止委員会	「虐待はしない、させない、許さない」 人権意識や支援技術の向上を職員一人ひとりが努力し、安心、安全な質の高い支援を提供することを目的とする。 マニュアル作成、管理、研修実施	月1回	園長、各委員
13	安全衛生委員会	労働環境や業務内容などにより、健康被害や労働災害など従業員の健康や安全を守るため、労使が一体となって調査審議し意見を述べていく	月1回	産業医、衛生管理者、委員長(園長)、各委員
14	安全委員会	介護職員による喀痰吸引及び経管栄養に関する業務の実施にあたって、施設内に設置し、業務の安全かつ適正な提供体制の確保を図る。	月1回	囁託医、園長 各委員

6. 各係の取組み

	係名	取組内容
1	研修	全員のスキルアップと一人ひとりのキャリアアップを目指し、内部研修を企画し、外部研修への参加を計画する。
2	実習	社会福祉士・介護福祉士等専門職としての役割や具体的な施設サービスの提供となる実践力等を習得できるよう、実習受入れ調整・学校担当者との連絡等を行う
3	広報	施設内外での活動や行事の様子を個人情報に配慮しながらブログや法人ホームページに掲載することで、施設での様子について広く情報発信していく
4	福祉教育	ワークキャンプやインターンシップ等を通じ、地域との交流や役割を理解・体験できるようプログラムの作成、受入れ調整等を行う
5	外出	複数回の外出する機会を設け、買物等楽しむ機会を増やし、より充実した生活を過ごしてもらえるよう、利用者の意向にできるだけ寄り添いコロナ禍でも実施できるよう情報収集し計画する
6	レクリエーション	趣味活動等個々に合わせたレクリエーション活動のほか、書道・カラオケ・園芸・麻雀クラブ等を主としたクラブ活動、その他利用者の要望に合わせた日中活動を行い、余暇を有意義に過ごせるようにする
7	補装具・福祉機器	利用者一人ひとりが安心・安全な生活が過ごせるよう装具の申請、点検、管理を随時行う。利用者の日常生活に支障をきたすことなくスムーズに支援できるよう福祉機器の点検管理を行う。
8	生活用品・リネン	日常生活用品と寝具類の確認を行い、快適に生活できるよう管理する
9	防災・救急	①災害時に「人命の保護を最優先」し「資産の保護」と「事業の継続、早期復旧を図る」ことを目的として、設備・備品の点検や備蓄品の管理を行う。災害ごとの防災マニュアルの点検と更新を行い、有事の際には利用者・職員が落ち着いた行動をとれるように、防災シミュレーションや防災訓練を実施する ②避難訓練を通じて利用者の防災意識を高め、地域住民を交えた総合避難訓練を行い地域での協力関係を構築する。
10	利用者の会	利用者の自治会。喫茶「もどき」やバーベキュー等、施設行事とは違う独自の活動を展開。職員はオブザーバーとして参加

7. 施設行事

月	行事名	内容等
4月	買物外出	衣類等、生活用品を主に、自分の目で確かめ購入する
	コンビニ外出	近隣のコンビニに出かけ、主におやつ類を購入する
	花見会・花見ドライブ	桜を鑑賞し春の訪れを楽しむ。地域の桜名所をドライブし楽しむ
5月	買物外出	衣類等、生活用品を主に、自分の目で確かめ購入する
	コンビニ外出	近隣のコンビニに出かけ、主におやつ類を購入する
	町内会合同避難訓練	近隣住民の方々と一緒に訓練を行うことで、相互協力ができるよう確認、また地域全体での防災意識向上を図る
6月	コンビニ外出	近隣のコンビニに出かけ、主におやつ類を購入する
7月	七夕	利用者、職員の願い事の書かれた短冊と七夕飾りを笹の葉に吊るしたものをホールに設置し、行事食を楽しむ
	夏祭り	職員駐車場（雨天時は施設内）で、利用者、家族、近隣住民、ボランティア、職員と一緒にステージ余興や出店を楽しむ
8月	立佞武多運行参加、観覧	㈱富士電機津軽セミコンダクタの立佞武多運行に参加し交流を図る。身障者優先席を利用し立佞武多を観覧する
	パフォーマンス劇団「結」公演	パフォーマンス劇団「結」の公演を観覧する
9月	コンビニ外出	近隣のコンビニに出かけ、主におやつ類を購入する
	買物外出	衣類等、生活用品を主に、自分の目で確かめ購入する
10月	劇団スキップわくわく公演	劇団スキップわくわくの公演を鑑賞する
	コンビニ外出	近隣のコンビニに出かけ、主におやつ類を購入する
	買物外出	衣類等、生活用品を主に、自分の目で確かめ購入する
	避難訓練	避難訓練（火災）実施マニュアルの確認と実践
11月	寿司の日	握り寿司を提供する
	コンビニ外出	近隣のコンビニに出かけ、主におやつを購入する
	買物外出	衣類等、生活用品を主に、自分の目で確かめ購入する

12月	クリスマス会	クリスマスの行事食を食べながら、クリスマスらしい雰囲気を楽しむ
	もちつき	新年を迎える「鏡餅」をみんなで作り、年末の行事として楽しむ
1月	鏡開き	鏡開き行事として、お汁粉等を提供し楽しむ
2月	節分	ホールにて、豆まきを行い禍を払う
3月	防災の日	3.11に防災についてのビデオ研修と非常食を提供して防災意識を高める

※新型コロナウイルス感染症の発生状況をみながら進めていく

8. 職員会議

	会議名	内容等	開催日	参加者
1	職員会議	園長及び各事業所・各部署並びに各係からの連絡。研修内容の伝達。関係事項の周知。各種事案の検討等	月1回	全職員
2	給食会議	検食簿記載内容の確認・検討、各種事案の検討、研修等	月1回	園長、給食職員、食事検討委員会
3	福祉課ミーティング	支援内容の統一を図るため、支援内容の手順確認、各種事案の検討	月1回	福祉課職員
4	医務ミーティング	看護ケア、処置の統一を図るため、目的、手順の確認と伝達	月1回	全看護師
5	リーダー会議	状況確認等情報を共有し、課題解決や意識統一を図る	月1回	課長、主任 リーダー
6	エルダー会議	新任職員とエルダー職員の育成プログラムの状況確認、情報等を共有し課題解決や支援手順、業務手順の統一を図る	月1回	課長、主任、リーダー、エルダー
7	支援・ケア会議	サービス支援計画検討、ケア実施内容検討	月2回 週1回	園長、課長、サビ管、主任、栄養士、看護師、ケース担当者
8	リハビリテーション実施計画会議	リハビリテーション加算の対象者の計画検討	3ヵ月毎	園長、課長、サビ管、訓練担当者、栄養士
9	安全衛生委員会	従業員の健康障害を防いだり、健康を増進したりするための対策について話し合う。労働災害発生報告などを行う。	月1回	産業医、衛生管理者、委員長（園長）各委員
	各種委員会会議	状況確認等情報を共有し、各種事案の検討、課題解決を図る	月1回	各委員

9. 外部研修

月	研修名	内容	開催地
4月	リーダー研修	介護現場におけるリーダーとしての知識や技術などを習得	青森市
6月	青森県身体障害者施設職員研修会	毎年の研究テーマに沿った発表・検討会。各施設との情報交換	十和田市
	喀痰吸引等研修指導者研修	「基本研修」及び「実地研修」に係る指導者資格を習得する	青森市
	介護福祉士実習担当者講習会	介護実習の専門的知識及び教育方法を習得する	青森市
7月	キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース	福祉・介護職員が、自らのキャリアアップの道筋を描き、それぞれのキャリアパスの段階に応じて共通に求められる能力を段階的・体系的に習得する	青森市
	栄養・食育ケアマネジメントセミナー	栄養・食育ケアマネジメントに関する基礎知識。各種加算に関する取組等の習得	青森市
	喀痰吸引研修	必要な医療的ケアをより安全に提供するため、適切に痰の吸引等を行うことができる介護職員を養成する	青森市
	介護記録研修会	介護現場で大切と言われる介護記録の適切な書き方及び活用法について習得する	青森市
	ノーリフティング研修	「持ち上げない・抱え上げない・引きずらない」リフトなどの福祉機器を適切に使うノーリフティングケアを習得し、ケアの質を再検討する	未定
	一人ひとりが取り組む感染防止対策	施設の感染症に対する知識と感染症対策の正しい知識を習得する	青森市
	職場研修担当者研修	人材の育成や定着に向け、OJTをはじめとする職場研修の実施方法について学ぶ	青森市

8月	社会福祉施設中堅・指導的職員研修	介護全般に関してさらに知識や理解を深め、後輩の育成や仕事における課題発掘・解決・業務改善のための視点や取組み方など、中堅スタッフとしての役割意識を習得する	青森市
	介護スキルアップ研修 「拘縮ケア」	「関節の動かし方」を学び、正しい姿勢・ポジショニングにつなげる。「痛みを与えない介護」拘縮ケアを習得する	青森市
9月	社会福祉施設看護職員研修	看護師のキャリアアップの意義と実現するための方法を学ぶ	青森市
	東北ブロック身体障害者施設職員研修会	毎年の研究テーマに沿った発表・検討会。東北ブロック施設との情報交換	福島県
10月	国際福祉機器展	介護ロボットや介護向け ICT システム等多様なセミナーで福祉機器についての情報収集等	東京都
	ノーリフティング研修	「持ち上げない・抱え上げない・引きずらない」リフトなどの福祉機器を適切に使うノーリフティングケアを習得し、ケアの質を再検討する	未定
	全国身体障害者施設協議会職員研究大会	毎年の研究テーマに沿った発表・検討会。制度・情勢の情報収集等	福岡県
11月	看護職リーダーのマネジメント向上	立場と役割を認識しマネジメントスキルを習得する	青森市
	青森県身体障害者施設協議会事務担当者研修	毎年の研究テーマに沿った発表・検討会。各施設との情報交換	弘前市
	サービス管理責任者研修（更新研修）	適切なサービス提供のための個別支援計画作成・サービス提供プロセスの管理などを学び、任用資格を習得する	青森市
	障害者虐待防止権利擁護研修会	障害者の人権・権利の擁護推進のために、施設職員としての役割や対応方法についての理解を深める	青森市
	権利擁護・成年後見セミナー	「権利擁護の仕組み」「成年後見制度」の考え方や基礎的な知識・方法について学ぶ	青森市
12月	キャリアパス対応生涯研修 （管理職員コース）	トップマネジメントとしての役割を遂行するための基本を習得する	青森市
	リスクマネジメント研修会	リスクマネジメントにおける役割や能力、必要性や目的・効果等リスク管理について学ぶ	青森市
1月	給食業務担当者研修	管内病院、施設給食関係者の食事に関する情報を適切に伝えるツール活用に向けた研修。食事形態等に関しての知識を深める	五所川原市
1月	全身協経営セミナー	法改正フォローや動向の情報共有等、経営戦略的思考を学ぶ	東京都

※開催については未定、オンライン研修を積極的に取り入れる（昨年度のデータを参照）

10. 内部研修

月	研修名	内容	講師
4月	新任者研修	法人が実施する事業内容や取組み姿勢及び各種規程の理解。また基本的な介護技術の習得ほか	各担当者
	身体拘束について	身体拘束の防止と対応について学ぶ	福祉課職員
	虐待防止について	障害者虐待の防止と対応の手引きについて	福祉課職員
5月	救急法	救命・AEDの実技講習	救急救命士
	健康管理、ストレス管理・解消法	健康管理と心身の健康について学び考える	看護師
6月	熱中症と脱水症予防	熱中症と脱水について学ぶ	看護師
	拘縮予防ケア	「関節の動かし方」を学び、痛みを与えない介護を考える	機能訓練担当者
7月	口腔ケアについて	口腔ケアの必要性和誤嚥性肺炎の予防について学ぶ	言語聴覚士
	人権擁護について	人権擁護と障害者虐待防止法の理解	福祉課職員
8月	福祉機器活用について	ノーリフティングの理解、福祉機器の活用と実践	福祉課職員
9月	腰痛予防と筋トレ	腰痛のメカニズム理解と簡単に実践できる筋トレ	福祉課職員

	虐待防止について	障害者虐待の防止と対応について	福祉課職員
10月	防犯研修	施設の防犯対策（マニュアル理解）・実践訓練	福祉課
	身体拘束について	身体拘束の防止と対応について学ぶ	福祉課職員
	感染症対策について	感染症の予防・対策について学ぶ（マニュアル確認・実技指導）	看護師
11月	コミュニケーションについて	コミュニケーション技法について学ぶ	外部講師
	感染症対策について	感染症の予防・対策について学ぶ（マニュアル確認・実技指導）	医務
12月	伝達研修	4月からの外部研修について伝達する	福祉課職員
1月	ケアガイドラインについて	ガイドラインの活用・不適切ケアについて話し合う	福祉課職員
	拘縮予防ケア	「関節の動かし方」を学び、痛みを与えない介護を考える	外部講師
2月	リスクマネジメントとは	介護事故予防のためのリスクマネジメントの要因分析と対策立案について学ぶ	福祉課職員
3月	生活リハとは	身体可動域等身体の動きの理解と日常生活動作とリハビリについて理解する	機能訓練担当者

令和3年度 事業計画

しあわせセンターうるしかわ

福祉総合相談センター

1. 事業内容

福祉総合相談：電話相談、来所相談、訪問相談

2. 事業方針

- (1) 社会福祉法人内湯療護園の理念「一人ひとりが人として豊かに」のもと、人との「つながり」を大切にしながら、地域に身近な「福祉よろず相談所」として寄り添った支援を行う。
- (2) 住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、関係機関等と連携し、「地域づくり」を目指していく。

3. 事業計画（目標）

- (1) 関係機関と連携し、適切な機関や制度等への橋渡しに努める。
- (2) 周辺地域で抱えている課題や福祉ニーズを把握し、地域資源の改善、普及啓発など、相談センターの機能を活かして地域への働きかけを行う。

相談支援事業（指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業・指定障害児相談支援事業）

1. 事業内容

(1) 指定特定相談支援事業

計画相談支援（サービス利用支援、継続サービス利用支援）、基本相談支援（障がい者・障がい児等からの相談）

(2) 指定一般相談支援事業

地域相談支援（地域移行支援、地域定着支援）、基本相談支援（障がい者・障がい児等からの相談）

(3) 指定障害児相談支援事業

障害児相談支援（障害児支援利用援助、継続障害児支援利用援助）

(4) その他

障害者相談支援事業（地域生活支援事業）の受託（五所川原市、つがる市、中泊町）

障害支援区分認定調査の受託（五所川原市、つがる市）

2. 事業方針

- (1) 一人ひとりが持っている能力や適性に応じ、その人らしく自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、想いに寄り添いながら相談受付や情報提供等の支援を行う。
- (2) 意思決定の支援に配慮しつつ、適切なサービスを利用し、希望する生活に向けた相談支援を提供できるよう努める。
- (3) 相談支援専門員の手厚い配置により、質の高い相談支援を実施する。

3. 事業計画

- (1) 専門性を活かし、個々の利用者に寄り添った計画作成に努める。
- (2) 市町村窓口及び地域自立支援協議会相談支援部会等と連携を図り、地域の福祉ニーズや地域課題を整理し、地域資源の改善、開発等に向けた働きかけを行う。
- (3) 医療的ケア児等コーディネーターを配置している事業所として、専門性が求められる利用者への支援に努める。
- (4) 新しい生活様式に合わせて、ICTを活用した体制（タブレットの導入、オンライン研修等）を整備し、相談支援専門員としての質の向上を図る。
- (5) 地域の相談支援体制において中核的な役割を果たす主任相談支援専門員の取得に向けて取り組む。
- (6) 新型コロナウイルスを主とした感染症に対する正しい知識を身につけ、感染対策マニュアル（厚生労働省）をもとに対応を徹底し、相談業務を実施する。

4. 職員会議

	会議名	内容等	開催日	参加者
1	職員会議	施設長及び各部署からの連絡。関係事項の周知等 ※第二うちがたで開催される会議に参加	月 1 回	全職員
2	ミーティング	モニタリング及び計画作成の確認、ケース検討、新規相談の検討等	週 1 回	全職員
外部会議への参加 ① つがる西北五広域連合地域自立支援協議会相談支援部会運営会議（年 3 回） ② 五所川原市障害者相談支援事業会議（不定期） ③ つがる市相談会議（年 2 回） ④ 相談支援従事者研修ワーキング会議（年 5 回程度）				

5. 外部研修（外部勉強会を含む）

月	研修名	内容	開催地
3 月	障害福祉サービス事業者等集団指導	過去の指導事例、留意点及び制度の改正内容について指導を受ける	青森市
未定	つがる西北五広域連合地域自立支援協議会相談支援部会	未定（年 3 回）	五所川原市
未定	相談支援従事者現任研修	相談支援専門員として適切な利用支援等の援助技術を習得すること及び困難事例に対する支援方法について助言を受けるなど、日常の相談支援業務の検証を行うことにより資質の向上を図る	青森市
未定	相談支援従事者主任研修	地域の障がい児者等の意向に基づく地域生活を実現するために必要な援助技術を向上させ、地域づくり、人材育成、困難事例への対応など地域の中核的な役割を担う専門職の育成を図る	未定
未定	相談支援従事者専門コース別研修	相談支援専門員の専門知識の習得及び資質向上を図る	青森市

6. 内部研修 ※このほか、第二うちがたで開催される職場内研修に参加

月	研修名	内容	講師
未定	伝達研修	外部研修及び勉強会の伝達を行う	
	事例検討会	野中方式及びストレングスモデルを活用し、支援の見直し、地域課題の発見等を行う	所長

地域交流室『うるしかわ「みんなのひろば」』

1. 事業内容

地域貢献：地域交流室『うるしかわ「みんなのひろば」』の貸出し

2. 事業方針

地域の「みんなのひろば」として、福祉の担い手になる「みんな」が気楽に、そして幅広く利用できる交流室を目指している。地域に開放することで、福祉を地域の人々に見えるようにし、垣根を越えた人と人との「きずな」をつくり、問題解決への働きかけをしていく役割も担っていく。

3. 事業計画

- (1) 定期的に地域に対する周知を行い、啓発に努めていく（町内会の回覧板等を活用）
- (2) 福祉避難所として、機能及び設備等を提供する（五所川原市より指定を受けている）
- (3) 会場の換気や消毒等の物品を整備し、新型コロナウイルスを中心とした感染症対策を徹底する

4. その他

利用について

開館時間：午前 9 時～午後 8 時まで

休 館 日：年末年始（12 月 31 日～翌年 1 月 3 日まで）

利用申込：申込用紙を利用希望日の 5 日前までに提出して申し込む

利 用 料：原則無料

利用対象：地域住民のニーズに幅広く応じる

（例）●介護教室、看護教室、パソコン教室など

●町内会・婦人会・子供会など

●ボランティア等による手作り教室や児童とのふれあい交流など

令和３年度 事業計画

ケアホームうるしかわ

1. 事業内容

(1) 共同生活援助（定員 10 名）

2. 事業方針

- (1) 障がいがあっても安心して地域生活を送ることができるよう利用者の意向を尊重し、生きがいのある生活を送れるよう支援する
- (2) 住み慣れた地域の中で自分らしく、自立した日常生活を営むことができるよう支援する
- (3) 地域との結びつきを大切に、第二うちがたのバックアップを受けながら、利用者の生活を支援する
- (4) 利用者の重度化・高齢化に伴い、利用者が安心・安全・快適な環境の中で生活できるよう支援する
- (5) 行事や外部研修等は、新型コロナウイルス感染状況をふまえながら実施していく

3. 事業計画（目標）

- (1) 利用者個々に合った支援の提供や関係機関との連絡調整を実施し、安心して地域生活を送れるように努める
- (2) 日々の健康管理の継続。服薬や衛生面についての助言を行ったり、必要に応じてバックアップ施設である第二うちがたの看護師及び嘱託医への相談、医療機関への通院の支援を行う。また、感染予防の徹底に努める
- (3) 調理・洗濯・掃除等、日常生活の家事を自ら進んで行えるよう支援する
- (4) 地域住民と交流が図れるよう、地域の行事へ積極的に参加する
- (5) 非常事態に備えるため、年２回の避難訓練、その他必要な訓練を実施する

4. 施設行事

月	行事名	内容等
4 月	買物外出	エルム・ジャスコ・スーパーストアへ外出し、日用物品の購入をする
	入所者懇談会	お茶をしながら、日々の生活などについて意見交換する
5 月	買物外出	エルム・ジャスコ・スーパーストアへ外出し、日用物品の購入をする
6 月	全職員基本健診	
7 月	避難訓練	消防署立会いのもと、避難誘導・通報訓練・消火訓練・放水訓練を実施
	夏祭り（合同）	第二うちがた・ひだまり工房・ケアホーム合同で夏祭りを楽しむ
8 月	立佞武多観覧	希望者のみ立佞武多を観覧し、夏の訪れを堪能する
	ケア付き立佞武多への参加	五所川原市社会福祉協議会主催のケア付き立佞武多へ参加（希望者）し地域交流を図る
	BBQ	焼肉を堪能しながら利用者・職員間の交流を図る
9 月	ドライブ外出	利用者に行先の希望をとり、ドライブを楽しむ
	買物外出	エルム・ジャスコ・スーパーストアへ外出し、日用物品の購入をする
10 月	買物外出	エルム・ジャスコ・スーパーストアへ外出し、日用物品の購入をする
	入所者懇談会	お茶をしながら、日々の生活などについて意見交換する
	避難訓練	避難誘導・通報訓練・消火訓練・放水訓練を実施
11 月	インフルエンザ予防接種	利用者・職員対象に予防接種を実施し、インフルエンザ予防に努める
12 月	クリスマス会	クリスマス料理を食べ、ゲーム等しながらパーティーを楽しむ

3月	婦人科健診	希望者のみ実施
----	-------	---------

5. 職員会議

	会議名	内容等	開催日	参加者
1	職員会議	施設長及び各部署並びに各係からの連絡。研修内容の伝達。関係事項の周知。各種事案の検討等	月1回	全職員
2	ミーティング	支援内容の統一及び確認、行事、通院支援の予定等	月1回	ケアホーム職員

6. 外部研修（前年度研修を参考にしています。）

月	研修名	内容	開催地
未定	青森県身体障害者施設職員合同研修会	毎年の研究テーマに沿った発表・検討会。各施設との情報交換	十和田市
9月	東北ブロック身体障害者施設職員研修会	毎年の研究テーマに沿った発表・検討会。東北ブロック施設との情報交換	福島県
10月	全国身体障害者施設協議会研究大会	毎年の研究テーマに沿った発表・検討会。制度情勢の情報収集等	福岡県
未定	地域生活支援推進研究会議	障害者が地域で生活するための取り組み等について	未定

※ ほかに第二うちがたに準ずる

7. 内部研修

月	研修名	内容	講師
4月	ケアホームについて	ケアホームについての勉強会を実施	当ホーム職員
5月	リフターフォローアップ	電動・手動リフターの使用について	当ホーム職員
6月	認知症について	認知症について学ぶ	未定
7月	食中毒について	ケアホームでは調理を行うため、食中毒に関する勉強会を実施	当ホーム職員
8月	危機予知訓練	日常に潜む危険行動について	当ホーム職員
10月	感染予防について	インフルエンザ・ノロウイルスについて	当ホーム職員
	伝達研修	参加した研修内容による	当該職員

※ ほかに第二うちがたに準ずる

令和3年度 事業計画

ひだまり工房

1. 事業内容

(1) 生活介護（定員 14 名）

(2) 自立訓練（機能訓練 定員 6 名）

2. 事業方針

(1) 生活介護

- ① 利用者一人ひとりが、入浴・排泄・食事の介護に加え、日常生活訓練・社会適応訓練・機能訓練・生産活動等、必要なサービスを受けながら、地域における自立した生活を営むことを目的とする。
まずは利用者の方に楽しくサービスを利用していただけるように、事業所内の喫茶ひだまりで、時間をかけて煮出したこだわりのドリップコーヒー・オリジナルのケーキ等を提供している。
また、リハビリを兼ねてトランプや花札・麻雀を行い、楽しく過ごせる時間を整えている。
今後も皆で楽しめる内容を増やし、満足度を高めていく。
- ② 利用者の方の重度化と家族の高齢化に伴い、家族介護の負担が大きくなっていることから、家族との関係を密にし、行政等のネットワークを利用して安心した在宅生活を送れるように努める。
- ③ 生産活動については、乾燥野菜の試作品は完成。ただ、保存に多少の問題が見られていることから、工夫を凝らして完成に近づけていく。

(2) 機能訓練

- ① 上田法訓練を基本とし、必要なリハビリを組み入れ、自立した生活を営むことを目的とする
- ② ニーズに沿った訓練計画を立て、安心した在宅生活を送られるように進める
- ③ リハビリを兼ねて外出や余暇活動を加え、楽しみと結びつけ満足度を高めていく

3. 事業計画（目標）

- (1) 地域住民との交流を図り、利用者に笑顔で寄り添った生活支援を図る
- (2) 相談支援事業所を通して利用者の確保に努める
- (3) 安定した利用率と収入の確保に努める
- (4) 個別支援計画に沿ったサービス提供を行う
- (5) 利用者の自己選択、自己決定を尊重する
- (6) 必要性の高いサービスの提供を行う（外出・リハビリ）
- (7) 職員の学習環境を整えスキルアップを図る
- (8) ボランティアの確保に努める

4. 施設行事

月	行事名	内容等
7 月	合同夏祭り	地域住民・家族・他利用者と多彩なイベントを通してひと時を楽しむ
12 月	クリスマス会	ツリーを点灯し、歌をうたい、雰囲気を楽しむ
2 月	節分	日本の文化を演じて楽しむ（豆まきを行う）
随時	買物・食事・ドライブ外出	楽しむことができる機会を増やす

5. 職員会議

	会議名	内容等	開催日	参加者
1	職員会議	施設長及び各部署並びに各係からの連絡。研修内容の伝達。関係事項の周知。各種事案の検討等	月 1 回	全職員
2	ミーティング	共通認識を持ち、ポジティブな考えと、求められるサービス提供に結びつける	毎日	全職員

6. 外部研修（前年度研修計画を参考にしています）

月	研修名	内容	開催地
6月	認知症介護基礎研修	基礎を学び、業務につなげる	青森市
7月	一人ひとりが取り組む感染防止対策	感染症対策・管理・発生時の対応法等、押さえるべきポイントを学び、安心した業務と利用につなげる	青森市
	介護記録研修	記録の基礎を学び、実践に結びつける	青森市
8月	緊急時の介護	基礎を学び、日頃からの備えとあわせ、いざというときに役立てる	青森市
9月	苦情解決関係者等研修会	基礎的な知識・方法を学び、専門性を高める	青森市
10月	介護スキルアップ研修	基本を学び、より良いケアにつなげる	青森市

7. 内部研修

月	研修名	内容	講師
	第二うちがた・ケアホーム合同	自分と職場を守る	担当者

令和3年度 事業計画

特別養護老人ホーム きりん館

1. 事業内容

(1) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（定員 29 名）

入所定員が 29 名以下の小規模な施設で、中泊町に住所のある要介護 3 以上の方に対して地域密着型サービス計画を作成し、計画に基づいて入浴、排せつ、食事等の介護、その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理等の支援をする。

(2) 短期入所生活介護・介護予防生活介護（定員 6 名）

老人ホームに併設された施設に短期間入所してもらい、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援や機能訓練などを行う。一定期間、介護から解放される利用者家族にとって、自分の時間を持つことができ、介護負担の軽減を図ることができる。また、利用者家族の病気や冠婚葬祭、出張などで一時的に在宅介護が困難な時にも利用できる

2. 事業方針

- (1) 住み慣れた町で、馴染みの顔の人たちとともに、それまでの生活習慣や好みを活かして、今までの暮らしが継続できる環境を整え、ご本人や家族の入居に対する不安を解消する。
- (2) 台所ではご飯を作る音や匂い、共有スペースからはテレビで楽しむ声が聞こえ、自分の部屋にいても皆の生活している気配を感じ、「ひとりではない」安心感を持っていただける空間づくりを進める。
- (3) 一人ひとりのプライバシーに配慮し、入居者が相互に社会的関係を築き、自立した生活を営むことができるよう支援する。
- (4) 「ゆっくり、にっこり、おおらかに」を心がけた生活支援と介護を進める。

3. 事業計画（目標）

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策を徹底する
 - ① 新型コロナウイルスを持ち込まない、拡げない
 - ② 新型コロナ等、感染症対策についての職員教育を強化していく
- (2) 介護サービス認証施設の認定を受けたことから、その認定要件を継続して遵守し、利用者サービスや職員資質の向上を更に進化させていく
- (3) 入所者、家族、地域住民、職員が地域の一員として共生できる関係づくりを進める
- (4) 施設内外の研修に積極的に参加して、必要な知識と技術を高め、質の高いサービスを提供する
- (5) 法人内の他部署と交換研修を行い、刺激を受けることにより知識と技術を高める
- (6) 年 2 回以上、業務の見直しを行い、改善や効率化を図っていく

4. 各部署の取組み

	部署名	取組内容
1	介護	利用者一人ひとりの意見と人格を尊重し、自立した生活を営むことができるよう、24 時間シートを作成し、サービス提供する
2	医務	利用者が安心して生活が送れるように健康管理に努め、病気の早期発見、早期治療に努める

3	給食	①衛生管理を徹底し、食中毒防止に努める ②調理職員全員で利用者の食事場面の観察を続け、安全でおいしい食事を提供できるよう努める ③デイサービス昼食に月1回選択食実施を継続する
4	宮繕	①施設内外の環境整備・清潔保持に努め、利用者が安心・安全に過ごせるように、事故防止を側面から支援する ②災害時に備え訓練を実施する

5. 各委員会の取組み

	委員会名	取組内容	開催日	参加者
1	広報誌発行委員会	広報誌「きりんだより」の発行を行い情報を発信する。地域に広く知っていただくためにPR活動を行う	年4回	施設長 各委員
2	備品管理・経費節約委員会	介護用品、日用品等の備品等の発注及び在庫管理を行う。節約に対する意識の改革	年2回	施設長・主任 各委員
3	感染防止委員会	感染予防に努める。感染予防マニュアルの作成を行う。また、感染予防の研修を企画開催する ※特に新型コロナウイルス感染症について強化する	年2回	施設長 看護師・主任 各委員
4	事故防止・リスクマネジメント委員会	事故及びヒヤリハット事例の収集、分析、再発防止策を検討する。安全対策を進め、事故ゼロを目指す	隔月1回 緊急時 勉強会年2回	施設長、看護師、各委員
5	身体拘束等適正化委員会	利用者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく、職員一人ひとりが身体的、精神的弊害を理解し、拘束等廃止に向けた意識を持ち、身体拘束をしないケアの実施に努める。具体的な活動として ①カンファレンスを実施し、身体拘束適正化に努める ②経過観察及び再検討会議の開催 ③防止策の検討や対策案の討議を推進	隔月1回 及び必要 時年2回 の研修会 開催	施設長、看護師、主任、ケアマネ、各委員
6	職員研修委員会	研修の企画・参加を計画し、関係法令の改正内容の理解や新しい介護技術の習得を目指す。また、人材確保や地域貢献の取組みを学び、施設内外の環境改善を図る。アンケートを実施し、職員のニーズに合った勉強会の企画を行う	年2回	施設長、主任 各委員
7	サービス向上委員会	各支援マニュアルの作成及び見直し。自己評価結果の問題、課題の解決。給食会議への参加	3月に1回	施設長、主任 看護師、各委員
8	地域貢献委員会	施設の中だけの生活にとらわれず、地域の中の一人として学校や住民との交流を目的とする。また福祉施設として地域貢献活動を行う。		施設長、主任 各委員
9	外出・イベント企画委員会	希望に沿った行事やイベント等を企画し、より多く参加できる機会をつくる。	3月に1回	施設長 各委員
10	褥瘡委員会	対象者を統一した評価スケールをもとに予防に努める。発生時における早期治療と苦痛の緩和、適切なケアの指導を進める。また、職員教育を定期的に行い、予防に対する知識の習得と質の高いケアに取り組む	毎月及び必要時 年2回の研修会開催	施設長、看護師、主任、ケアマネ、各委員
11	終末期ケア委員会 (看取りケア)	利用者と家族に安らぎを与え、たとえ意識がなくなった状態にあったとしても、最期まで人間の尊厳を守り身体介護や声がけを行う	毎月及び必要時	施設長、看護師、主任、ケアマネ、

				各委員
12	喀痰吸引等安全委員会	介護職員による喀痰吸引及び経管栄養に関する業務の実施に当たって、施設・事業所内に委員会を設置し、実施計画、実施状況の確認、教育、器機及び衛生の管理等を行う	毎月及び必要時	施設長、看護師、主任、ケアマネ、各委員
13	安全衛生委員会	感染対策の基礎的内容等の適切な知識を普及・啓発するとともに、衛生管理の徹底や施設内外の安全面を検討し、事故防止に努める	月1回	産業医、施設長、看護師、委員

6. 施設行事

月	行事名	内容等
4月	桜祭り外出	芦野公園で桜を鑑賞。昼食はノアで外食する
5月	薄市小学校運動会見学	地元の薄市小学校の運動会を見学し、子供たちと一緒に競技に参加、応援をする
	回転寿司外出	五所川原市の回転寿司店へ行き、食べたい物を選んで食べる楽しさを味わう
6月	今泉養の河原例大祭外出	地元の今泉地区で古くから行われてきた行事に参加し、先祖の供養とともに地域の方と共にステージ発表等を見学する
	買物外出	つがる市・五所川原市の大型ショッピングセンターへ小グループに分けて外出し、買物と外食を楽しむ
	薄市こども園運動会見学	地域の方々と一緒に、園児の競技やダンスを見学する
	避難訓練	消防署の協力を得て、火災を想定した避難訓練実施
7月	さくらんぼ狩り	稲垣タケちゃん農園へ出かけ、旬の果物を収穫して味わう
	ドライブ外出	小泊地区出身の方を中心に、自宅に立ち寄りたり海を見たりしながらドライブする
8月	中泊まつり外出	地元の祭りに出かけ、出店での飲食やステージでの催し物を鑑賞する
	薄市地区盆踊り参加	地元薄市地区で行われる流し踊り・盆踊りに参加・見学する
9月	ケッパレ薄市秋祭り	内湯公民館で、地域の方々と一緒に食事し、ステージ発表やくじ引きなどを楽しむ
	避難訓練	消防署の協力を得て、火災を想定した避難訓練実施
	買物外出	つがる市・五所川原市の大型ショッピングセンターへ小グループに分けて外出し、買物と外食を楽しむ
10月	薄市小学校発表会見学	薄市小学校の発表会に招待していただき、児童の劇や合唱を堪能する
	薄市こども園発表会見学	こども園の大ホールを貸切りで、発表会のリハーサルをゆっくり見学し、園児と触れ合う
11月	中泊町民祭見学	利用者が余暇活動で製作した手工芸品の展示と展示品の見学をする。また、唄や踊り等のステージ発表を見学する
12月	クリスマス会	家族の参加を募り、きりん館大ホールで催し物やくじ引き大会等を楽しむ、きりん館最大のイベント
1月	薄市小学校もちつき大会	杵と臼を使った昔ながらのもちつきを行い、児童と一緒に蕪玉をつくり、つきたてのもちを味わう
2月	節分	各ユニットで、鬼を決めて豆をまき、昔ながらの季節行事を楽しむ
3月	ひな祭り	各ユニットで、手作りのお雛様を飾り、桃の節句を祝う
毎月	対馬てみさんの来館	ボランティアの対馬さんの唄や読み聞かせを楽しむ
隔月	出張販売	地域のスーパーに出張してもらい、大ホールでお菓子や飲み物等を自分で選び購入する

7. 職員会議

	会議名	内容等	開催日	参加者
1	職員会議	施設長及び各部署、各係からの連絡。研修内容の伝達。関係事項の周知。 各種事案の検討等	月1回	全職員

2	ユニット会議	現場の課題を抽出し、業務の改善や標準化を検討する。情報の共有を行う	月1回	施設長、主任、看護師、介護職員
3	給食会議	職員・利用者からの意見を取り入れ、献立内容を検討する	隔月	施設長、栄養士、調理員、看護師、介護職員
4	運営推進会議	運営状況、活動状況等を報告し、適切な施設運営につなげていく	隔月	運営推進委員、行政・包括職員、利用者、各職員

8. 外部研修（前年度研修を参考にしていきます。）

月	研修名	内容	開催地
4月	新任職員研修	介護保険制度の基本的理解及び対人援助者としての基礎知識	青森市
6月	認知症介護基礎研修	ケア現場で役立つ認知症に関する最低限の知識・技術とそれを実践する際の考え方を身に付ける	青森市
	あおもりノーリフティングケア推進事業 管理者研修	ノーリフティングケアを推進するための研修	青森市
6月～	介護職員による喀痰吸引等研修	介護職員による喀痰吸引等の養成研修	青森市
6月～	ユニットリーダー研修	ユニットリーダー養成研修	岩手県ほか
6月～	認知症介護実践研修	認知症介護技術の向上を図ることを目的とする	藤崎町
7月	チームビルディングファシリテーター 養成研修	介護現場における人材育成を考える	
8月	メンター研修	介護現場における人材育成を考える	青森市
	あおもりノーリフティングケア推進事業 リーダー研修	ノーリフティングケアを推進するための研修	青森市
9月	認知症ケアのための多職種連携研修	①チームで考える・支える認知症ケアとは ②尊厳ある生活を支える認知症ケアとは	青森市
10月	体験型チームワーク力向上研修	チームワークの強化・体験プログラム	藤崎町
11月	介護技術レベルアップ研修	「身体に負担のかからない介護技術」「摂食・嚥下」など4つのテーマから選べる選択型研修	青森市
	リスクマネジメント研修	介護サービスにおけるリスクマネジメント	青森市
	チームワーク向上プログラム出前講座	チームワークの強化・体験プログラム	五所川原市
	認知症タイプ別ケア研修	認知症のタイプ別ケア方法、精神的に安定する対応方法	青森市
	介護記録研修会	記録の書き方など	青森市
	ユニットリーダーフォローアップ研修	リーダーの役割と運営上の課題整理等	青森市

※ その他、専門職（ケアマネ・相談員・看護師・給食）に関しても、随時研修参加できるように配慮していく

9. 内部研修

月	研修名	内容	講師
4月	新任者研修	法人が実施する事業内容や取り組み姿勢及び各種規程の理解。また基本的な介護技術の習得。更には外部研修に参加し、社会人としての自覚を促す	各担当者 外部研修事業者
	スキルアップ研修	「社会福祉法人の理念」	理事長
5月	スキルアップ研修	「感染予防について」	看護師
6月	スキルアップ研修	「介護記録の書き方」	主任
7月	スキルアップ研修	「身体拘束・虐待について」「救急法」	委員会
9月	スキルアップ研修	「接遇」	外部講師
10月	スキルアップ研修	「認知症について」	外部講師
11月	スキルアップ研修	「感染予防について」	看護師、委員会
12月	スキルアップ研修	「口腔ケアについて」	外部講師
1月	スキルアップ研修	「第2回 身体拘束・虐待について」	委員会、外部講師
2月	スキルアップ研修	「介護技術について」	外部講師
3月	スキルアップ研修	「個人情報保護とプライバシーについて」「救急法」	館長・担当者

令和 3 年度 事業計画
障害者福祉ホーム きりん館

1. 事業内容

福祉ホーム事業（定員 11 名）

障がいのために、家庭において日常生活を営むのに支障のある障がい者に対し、低額な料金で日常生活に適するような住まいを提供する。

2. 事業方針

設備を利用することにより、各種障がい者支援サービスを活用し、自立した生活を営んでいただく。

3. 事業計画

- （1）住みやすい環境の整備を進めて維持していく
- （2）うちがた工房、内潟療護園ホームヘルプセンターとの連携で豊かな生活を提供していく

令和3年度 事業計画

内潟療護園相談センター

1. 事業内容

居宅介護支援

2. 事業方針

社会福祉法人内潟療護園の理念である「一人ひとりが人として豊かに」を念頭におき、常に利用される皆様一人ひとりと真摯に向き合い、利用者や家族が相談しやすく、相手の立場や気持ちに寄り添った支援をしていく。また、地域で安心して暮らすことができるよう、各サービス事業所や行政、医療機関と連携し、情報提供や相談業務などの支援を行う。

3. 事業計画（目標）

- (1) 自立支援の理念において、ケアマネジメントを実施する
- (2) 利用者の確保に努める（前年度比+3%増）
- (3) 中泊町及び他市町村からの認定調査を受託する
- (4) 保健・医療・福祉分野などの専門職との連携
- (5) iPadを活用した業務の効率化を図る
- (6) 主任介護支援専門員として、他事業所の介護支援専門員へのコーチングや複雑な事例対応における援助や助言
- (7) 行政・医療機関とのネットワークの構築を図る
- (8) 新型コロナウイルス及びその他感染症の発生の防止のため、定期的に研修会を開催し、予防に努める
- (9) 地域共生サロン『みんなのやど』の運営に協力し、地域とのつながりを強化する

4. 施設行事

月	行事名	内容等
9月	ケッパレ薄市秋祭り	ケッパレ薄市秋祭りに参加し、地域住民へ広報する

5. 職員会議

	会議名	内容等	開催日	参加者
1	職員会議	理事長及び各部署からの連絡。関係事項の周知・各種事案の検討等	月1回	全職員

6. 外部研修（昨年度研修を参考にしています。）

月	研修名	内容	開催地
6月	相談業務に係る研修	相談業務のスキルアップ	青森市
7月	介護記録研修	介護記録について	青森市
9月	ヘビークレーマー対策研修	家族からのヘビークレームへの対策について	弘前市
11月	認定調査員現任研修	介護保険認定調査現任研修	青森・弘前市
不定期	介護支援専門員西北五支部研修会	介護支援専門員資質向上のための内容	五所川原市

7. 内部研修

月	研修名	内容	講師
4月	法人の理念	社会福祉法人内湯療護園の理念	理事長
6月	脱水症	熱中症・脱水症について	担当者
7月	自己覚知	個性について学ぶ 応用編	外部講師
8月	感染症	感染症や感染症予防について学ぶ	オンライン活用
9月	虐待防止	高齢者・障害者虐待防止	外部講師
10月	介護技術・コミュニケーション	介護技術の振り返りや新しい技術を学ぶ	外部講師
11月	認知症	認知症タイプ、認知症の方へのケア	担当者
12月	課題分類総括表	課題分類総括表の作成方法の見直し	外部講師
1月	自己評価	居宅介護支援事業所の自己評価	
2月	ケアプラン点検	ケアプラン点検実施後のプランの見直し	各担当者
3月	令和3年度の評価	令和3年度の自己点検・評価	

令和3年度 事業計画

内潟療護園デイサービスセンター

1. 事業内容

- (1) 通所介護（総定員 35 名）
- (2) 通所型独自サービス
- (3) 基準該当生活介護
- (4) 基準該当自立訓練

2. 事業方針

- (1) 要介護状態になっても、住み慣れた地域で、安心・安全で自立した生活を継続できるよう、入浴や食事、機能訓練、その他のサービスを提供する。
- (2) 利用者の心身機能の維持と重度化の防止、日常生活の活性化、自立生活の助長、社会的孤立の解消、並びに家族の介護負担の軽減を図ることを目的とした支援を行う。
- (3) 毎日来園していただいているボランティアの方へ感謝の気持ちを忘れず、ボランティア活動がしやすい環境を整えるとともに、活動内容の広報をしていく。

3. 事業計画（目標）

- (1) 法人の理念に基づき、職員が楽しく仕事ができるように労務管理を行う
- (2) 利用者の獲得にあたり、拠点のある内潟地区は毎戸に営業活動する
- (3) 居宅介護支援事業所や関係機関（保健・医療・福祉サービス）との連携を図り、中泊町内（中里地区・小泊地区）だけでなく、近隣の市町村からも利用者を獲得する
- (4) 全職員が利用者の特徴を把握し、環境面・人員面での事故を未然に防ぐようにする
- (5) 地域共生サロン『みんなのやど』の運営に協力し、地域とのつながりを強化する

4. 各係の取組み

	係名	取組内容
1	業務検討	業務の見直しや改善を検討する
2	防災・避難訓練	避難訓練の実施（きりん館と合同）や防災対策を検討する
3	リスクマネジメント検討	業務におけるリスクマネジメントについて検討する
4	余暇活動	レクリエーションなどの余暇活動を実施する
5	行事・外出・イベント	行事や外出などを企画し実施する

5. 施設行事

月	行事名	内容等
4 月	花見、買物外出	芦野公園への花見外出や、近隣スーパーなどへの買物外出を通じて心身の活性化と機能訓練を図る
5 月	花見、買物外出	芦野公園への花見外出や、近隣スーパーなどへの買物外出を通じて心身の活性化と機能訓練を図る
6 月	昼食外出	回転寿司などへの昼食外出を通じて心身の活性化と機能訓練を図る
	避難訓練	災害時などに迅速に避難誘導できるように避難訓練を行う
7 月	ドライブ外出	鰯ヶ沢方面などへのドライブ外出を通じて、心身の活性化と機能訓練を図る
8 月	買物外出	近隣スーパーなどへの買物外出を通じて、心身の活性化と機能訓練を図る
9 月	ケッパレ薄市秋祭り	ケッパレ薄市秋祭りを通じて、地域住民の方との交流を図る
10 月	昼食外出	回転寿司などへの昼食外出を通じて心身の活性化と機能訓練を図る
11 月	芋煮会	利用者と一緒にデイサービスで栽培・収穫した野菜を使用した芋煮会を実施し、旬の味を楽しむ
12 月	買物外出	近隣スーパーなどへの買物外出を通じて、心身の活性化と機能訓練を図る
1 月	新年会	余興やビンゴ大会を実施し、利用者と一緒に新年を祝う
2 月	バレンタイン	利用者と一緒にチョコレートを手作りする

3月	買物外出	近隣スーパーなどへの買物外出を通じて、心身の活性化と機能訓練を図る
----	------	-----------------------------------

6. 職員会議

	会議名	内容等	開催日	参加者
1	地域福祉センター職員会議	センター長や各部署からの連絡や伝達、関係事項の周知及び事案の検討等	月1回	全職員
2	地域福祉センター安全衛生委員会	感染対策の基礎的内容等の適切な知識を普及・啓発するとともに、衛生管理の徹底や施設内外の安全面を検討し事故防止に努める	月1回	産業医 施設長、看護師、担当職員
3	給食会議	給食部門と給食についての検討	2か月1回	担当職員
4	デイサービスミーティング	利用者や行事など連絡事項の確認	毎日	全職員

7. 外部研修（前年度研修を参考にしています。）

月	研修名	内容	開催地
6月	相談業務に係る研修会	相談・調整役に求められる対人スキルを学ぶ	青森市
	デイサービススキルアップ研修会	日々行っているレク活のあり方を振り返るとともに、レクの充実化を図ることを目的とする	青森市
7月	苦情解決関係者等研修会	苦情解決についての理解と知識を深め苦情解決のプロセスを学ぶ	青森市
8月	社会福祉施設中堅・指導的職員研修	社会福祉施設の指導職員として求められる能力役割を理解し、実践・活用できる技能を身に着ける	青森市
9月	介護サービス情報の公表制度	「10の研修テーマ」に関する知識・技術を介護サービスに従事する役職員が習得することによって、介護サービス全体の質の向上に資することを目的とする	青森市
10月	キャリアパス対応生涯研修 リーダーコース	チームリーダーとしてのキャリアデザインと、自己管理、自己成長、業務課題の解決等について講義と演習	青森市
11月	介護記録研修会	介護記録の意義や目的、根拠ある記録を書くための観察の視点、そして、書き方のポイントについて学ぶ	青森市
	介護技術レベルアップ研修会	利用者の方が心地よく、元気に生きることを支援するための最善のケアを導き出すことを目的とする	青森市
	介護技術講習会	介護事業所のキャリア開発、キャリア形成の取組みを推進することを目指し	青森市
	権利擁護・成年後見セミナー	権利擁護や成年後見の考え方や基礎的な知識・方法について学ぶ	青森市
12月	キャリアパス対応生涯研修 管理職員コース	トップマネジメントとしての役割を遂行するための基本を習得する	青森市

8. 内部研修

月	研修名	内容	講師
4月	新任者研修	法人が実施する事業内容や取組み姿勢、各種規程の理解など	各担当者
5月 7月 9月	マニュアル改善	マニュアル見直しチームを設置して、業務等の変化に対応した最新のマニュアルとして活用できるよう整備を行う	各担当者
6月 10月	先進事業所見学	先進事業の見学を行い、モチベーションアップを図るとともに、報告を兼ねた勉強会により自施設でどのように取り入れられるかを研究する	各担当者
8月 11月	認知症に関する勉強会	研修会参加者を講師として、認知症のある方への支援について検討する	各担当者

令和3年度 事業計画

内潟療護園ホームヘルプセンター

1. 事業内容

- (1) 居宅介護
- (2) 重度訪問介護
- (3) 訪問介護
- (4) 訪問型独自サービス

2. 事業方針

法人理念である「一人ひとりが人として豊かに」をもとに、利用者に介護が必要な状態となった場合でも、可能な限り居宅において自立した生活ができるよう本人・家族に寄り添いながら支援する。

3. 事業計画（目標）

- (1) 利用者・家族のニーズや要望を聞き取り、個別の訪問介護計画を作成。一人ひとりが自立した生活を送れるよう支援する
- (2) 居宅介護支援事業所及び相談支援事業所、各関係機関との連携を図り、利用者の確保に努める
- (3) 定期的に研修会を開催し、サービスの質の向上を図る
- (4) 町内の訪問介護事業所と連携を図り、定期的な話し合いができるように努める
- (5) 新型コロナウイルス及びその他感染症の発生の防止のため、定期的に研修会を開催して予防に努める
- (6) 緊急時や災害時のマニュアルを定期的に見直し、緊急時には各関係機関と連携し、利用者が安全に避難できるようにする

4. 施設行事

月	行事名	内容等
9月	ケッパレ薄市秋祭り	ケッパレ薄市秋祭りに参加し、地域住民へ広報する

5. 職員会議

	会議名	内容等	開催日	参加者
1	職員会議	理事長及び各部署からの連絡。関係事項の周知・各種事業の検討等	月1回	全職員
2	給食会議	利用者・職員からの要望	隔月	各担当
3	ミーティング	うちがた工房・ヘルパーとの業務内容や連絡事項等の共有 業務内容や連絡事項等の共有・各種事業の検討	月1回	全職員

6. 外部研修（前年度研修を参考にしています。）

月	研修名	内容	開催地
6月	認知症研修	認知症介護基礎研修	青森市
7月	チームワーク力向上研修	チームの一員としての役割や職員同士のネットワークの構築	五所川原市
9月	中堅職員のためのスキルアップ研修	より良い知識を身に着ける視点を学ぶ	弘前市
10月	障害児・者支援セミナー	障害児・者の支援のあり方を考える	青森市
	中堅職員のためのスキルアップ研修	人間関係を良くするコミュニケーション	青森市
	緊急時の介護	緊急時に動ける介護士になるために	青森市
	認知症タイプ別研修	認知症のタイプ別のケアのために	青森市
11月	ホームヘルパー中級者研修	安全で安楽な動作介助	青森市

7. 内部研修

月	研修名	内容	講師
4月	ヘルパー勉強会	法人の理念について	理事長
5月		記録・計画書の作成	担当者
6月		身体拘束等廃止に対する考え方	担当者
7月		食中毒予防	きりん館栄養士
8月		緊急時の対応	担当者
9月		高齢者・障害者虐待防止	外部講師
10月		介護技術	外部講師
11月		感染症予防	きりん館看護師
12月		認知症	担当者
1月		サービス事業所点検・自己評価	担当者
2月		リスクマネジメント	担当者
3月		評価・次年度の目標	担当者

令和3年度 事業計画

うちがた工房

1. 事業内容

(1) 生活介護（定員 14 名）

常時介護を必要とする人に、入浴・排泄・食事の介護、生活等に関する相談、助言、その他必要な日常生活上の支援、創作活動、生産活動の場を提供する。

(2) 自立訓練（機能訓練）（定員 6 名）

利用者が自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう身体機能の維持、向上のため必要な訓練を行う。

2. 事業方針

- (1) 法人理念である「一人ひとりが人として豊かに」をもとに、利用者主体のニーズ把握と創作活動または生産活動を通じて地域との交流を図りながら社会参加と自立を目指す。
- (2) 一人ひとりの可能性を見出し、自己決定を尊重し、ニーズに沿った個別支援と質の高いサービス提供を図っていく。
- (3) 生産活動を通じて、利用者、地域住民、職員が風通しの良い関係で笑顔で過ごせる地域社会づくりを目指す。

3. 事業計画（目標）

- (1) 利用者・家族のニーズや要望を個別支援計画に反映させ、一人ひとりに合わせた質の高いサービスが提供できるよう、支援内容の向上を図る。
- (2) 作業を通じた社会参加とレクリエーション活動など、利用者の「やりたいこと」や家族のニーズを考慮し、様々な経験をする中で日中活動を充実させていく。
- (3) 生産活動では、なたね・ひまわりの生産販売を行っている。作業は、それぞれ自分のペースで進めていくことを基本とし、役割をもって行っていく。また、なたね・ひまわり油の新しい利活用として、みつろうひまわり油ワックス作成を行う。
- (4) 地域住民と行うひまわり栽培やイベント参加など、地域の中での活動を増やしていくことで、事業所の認知度を高めていく。
- (5) 様々なニーズに対応できるよう、職員のスキルアップを図る。
- (6) 相談事業所や関係機関（保健・医療・福祉サービス）との連携を図り、利用者の確保に努める。

4. 施設行事

月	行事名	内容等
4 月	買物外出	個別ニーズに応じた外出をし、衣類や生活用品を自分の目で確かめて購入することで楽しむことができる機会を提供する
5 月	花見	芦野公園にて桜を鑑賞。利用者との交流を図りながら春の訪れを楽しむ
6 月	買物外出	イオン柏へ外出し、衣類や生活用品を自分の目で確かめて購入することで楽しむことができる機会を提供する
7 月	BBQ	中庭にて BBQ を開き、普段の食事と違った雰囲気での食事を楽しむ
8 月	ドライブ外出	利用者から希望を取り、ドライブや買物をする中で楽しむことができる機会を提供する
9 月	ケッパレ薄市秋祭り	秋祭りに参加して、地域住民の方との交流を図る
10 月	買物外出	金木スーパーストアへ外出し、衣類や生活用品を自分の目で確かめて購入することで楽しむことができる機会を提供する
11 月	なかどまり町民祭	作品を見学したり、催物を楽しむ。なたね油で揚げたドーナツを販売し、地域住民の方との交流を図る
	収穫祭	ひまわり種植から収穫、乾燥作業、種取り作業を利用者で行った日頃の労をねぎらい中庭にて BBQ を行い、利用者と交流を図るとともに、普段の食事と違った雰囲気を楽しむ
12 月	買物外出	金木スーパーストアへ外出し、衣類や生活用品を自分の目で確かめて購入することで楽しむことができる機会を提供する
1 月	新年会	正月料理を食べたり、ビンゴ大会をしながら新年を祝う
3 月	買物外出	個別ニーズに応じた外出をすることで、心身の活性化を図る

※外出や行事へ参加する際は感染状況に配慮するとともに、消毒等の感染予防対策を徹底し、利用者、職員の安全を確保しながら実施していく

5. 各委員会の取組み

	会議名	内容等	開催日	参加者
1	地域福祉センター 安全衛生委員会	感染対策の基礎的内容等の適切な知識を普及・啓発するとともに衛生管理の徹底や衛生的なケアの励行を行う。また、職員の作業事故の防止にも取り組む	月1回	産業医、所長 看護師、主任 各担当者

6. 職員会議

	会議名	内容等	開催日	参加者
1	地域福祉センター 職員会議	理事長、施設長、課長、各部署からの連絡。関係事項の周知。各種事業の検討。研修内容の伝達等の勉強会の実施	月1回	全職員
2	地域福祉センター 給食会議	栄養士、各部署からの連絡。献立に関する利用者の嗜好や情報収集	隔月1回	栄養士、所長 主任、担当者
3	ミーティング	利用者についての情報共有、連絡事項の確認	毎日	全職員
4	ヘルパー合同ミーティング	うちがた工房、ヘルパーとの業務内容や連絡事項等の共有	月1回	全職員

7. 外部研修

	研修名	内容	開催地
6月	認知症介護基礎研修	ケア現場で役立つ認知症に関する最低限の知識・技術とそれを実践する際の考え方を身に着ける	青森市
7月	職場研修担当者研修	人材の育成や定着に向け、OJTをはじめとする職場研修の実施方法について学ぶ	青森市
	介護記録研修	介護現場で大切といわれる介護記録の適切な書き方及び活用法について習得する	青森市
8月	あおりノーフティン グ推進事業	「持ち上げない・抱え上げない・引きずらない」リフトなどの福祉機器を適切に使うノーフティン グケアを習得し、ケアの質を向上させる	青森市
	社会福祉施設中堅・指導 的研修	介護全般に関してさらに知識や理解を深め、後輩の育成や仕事における課題発掘・解決・業務改善のための視点や取り組み方など、中堅スタッフとしての役割認識を習得する	青森市
10月	障害者福祉施設等におけ る障害者虐待防止と対応	障害者の人権及び基本的自由の享有を確保し、障害者固有の尊厳の尊重を促進することを目的とする	青森市
	障害児・者支援セミナー	障害児・者に対する支援のあり方や家族支援の視点も含めた具体的な支援を考える	青森市
11月	障害者虐待防止権利擁護研修	障害者の人権・権利の擁護推進のために、施設職員として役割や対応について理解を深める	青森市
	サービス管理責任者研修	適切なサービス提供のための個別支援計画作成・サービス提供プロセス管理などを学んで資格を取得する	青森市
2月	経営者支援セミナー	福祉・介護人材確保対策の一環として福祉施設・事業所における人材確保の現状を踏まえ、職場環境の整備や職員のメンタルヘルスの向上を目的とする	オンライン
都度	地域ケア推進会議	介護・保健・医療・福祉などの関係者が地域の仕組みづくり・資源の開発に検討や提案を行う	中泊町

8. 内部研修

	研修名	内容	講師
	職場内研修	年間計画・担当業務について	担当職員
		介護記録の書き方	
		リスクマネジメントについて	
		食中毒について	
		熱中症・脱水予防について	
		感染予防について	
		健康管理・ストレス管理	
		伝達研修	

令和３年度 事業計画

中泊町地域包括支援センター

1. 事業内容

(1) 包括的支援事業

- ①総合支援 ②権利擁護業務 ③包括的・継続的ケアマネジメント業務
- ④在宅医療・介護連携推進事業 ⑤認知症総合支援事業

(2) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

(3) 地域ケア会議の実施

(4) 指定介護予防支援

(5) 介護予防・日常生活支援総合事業

- ①介護予防支援業務（第１号介護予防支援事業）
- ②一般介護予防支援事業

2. 事業方針

中泊町第８期介護保険事業計画「健康でともに支えあう町づくり」の基本理念に基づき、また、同時に社会福祉法人内潟療護園の理念「一人ひとりが人として豊かに」という理念のもと、中泊町の町民が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活ができるよう、多職種と連携し、自助・互助に力を入れ地域で支えあう仕組みを整えていくことを目指す。

3. 事業計画（目標）

(1) 包括的支援事業

① 総合相談

ワンストップサービスの拠点として、電話・来所・個別訪問等により相談を受ける。地域の高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を継続するために、様々な相談に対応するとともに、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、必要に応じて継続的に支援する。

② 権利擁護業務

高齢者が、住み慣れた地域で尊厳のある生活ができるように、高齢者虐待、成年後見制度、消費者被害等について、予防と早期発見のために普及啓発、必要時は迅速に各機関と連携して解決を目指す。

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントを介護支援専門員が実践できるように地域の基盤を整えるとともに個々の介護支援専門員へのサポートをする。

④ 在宅医療・介護連携推進事業

地域の医療・介護関係者による会議の開催、在宅医療・介護関係者の研修などを行い、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制を促進する。

⑤ 認知症総合支援事業

◇ 認知症初期集中支援事業

認知症初期集中チームの配置により、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応、介護負担軽減に向けた支援を行う。

◇ 認知症地域支援・ケア向上事業

認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療機関や介護サービス事業所、地域の支援機関の連携を図るための支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行い、支援体制の構築と認知症ケアの向上を図る。

(2) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

介護サービスに限らず、地域の保健・福祉・医療サービスやボランティア活動、インフォーマルサービスなどの様々な社会資源が有機的に連携できる環境整備を行う。

(3) 地域ケア会議の実施

地域の支援者を含めた多職種による専門的視点を交え、介護支援専門員のケアマネジメント支援を通じて、適切な支援につながっていない高齢者の支援を行うとともに、個別ケースの分析などを通じて地域課題を発見し、地域に必要な資源開発や地域づくり、さらには政策形成につなげる。

(4) 指定介護予防支援事業

介護保険の予防給付対象となる要支援者が、介護予防サービスなどを適切な利用ができるように状態像や対象者・家族の意向をもとにアセスメントを行い明確な目標設定をもったケアプランづくりを行う。

(5) 新しい介護予防・日常生活支援総合事業

① 介護予防支援業務（第1号介護予防支援事業）

基本チェックリスト該当者や要支援者に対して、介護予防・日常生活支援総合事業における考え方を理解した上で、適切なアセスメントを行うことで自立した介護予防ケアマネジメントを実施し介護予防のための支援を進める。

② 一般介護予防事業

住民が主体的に健康づくり（介護予防）に取り組むことにより、できる限り介護を必要とせずに過ごせるよう支援、高齢になっても主体的活動・生きがい・役割をもって生活できるよう介護予防を推進する。事業実施にあたっては、高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民の参加のしやすさ、主体性を考慮する。

4. 各係の取組み

	係名	取組内容
1	包括普及啓発 (たより・フェイスブック等)	住民や関係機関への地域包括支援センター・地域支援事業の普及啓発、実施業務のフィードバックなどを行う
2	出前講座 (住民・介護サービス事業所)	住民や関係機関を対象に、地域包括センターの業務や職員の専門性を活用した講座を開催する
3	なかどまり町民祭	地域包括支援センター・地域支援事業の普及啓発や福祉用具の展示・紹介などを行う

5. 行事

月	会議・行事名	内容等
5月	中泊町地域包括支援センター運営協議会	地域包括支援センターにおける各業務の評価やセンターの適切・公正中立な運営の確保を目指す
	地域ケア推進会議	介護・保健・医療・福祉などの関係者が地域の仕組みづくり・資源開発の検討や提案を行う
6月	地域ケア個別会議	個別ケースの課題解決するために多職種が集まり検討をする
7月	地域ケア個別会議	個別ケースの課題解決するために多職種が集まり検討をする
8月	地域ケア運営会議	関係機関の代表者レベルが集まり、地域課題を明確化し解決に向けた検討や決定を行う。政策提言に向けた提案を行う
9月	地域ケア推進会議	介護・保健・医療・福祉などの関係者が地域の仕組みづくり・資源開発の検討や提案を行う
10月	地域ケア運営会議	関係機関の代表者レベルが集まり、地域課題を明確化し解決に向けた検討や決定を行う。政策提言に向けた提案を行う
	なかどまり町民文化祭（小泊会場）	地域包括支援センター・地域支援事業の普及啓発や福祉用具の展示・紹介などを行う
	なかどまり町民文化祭（中里会場）	地域包括支援センター・地域支援事業の普及啓発や福祉用具の展示・紹介などを行う
11月	地域ケア推進会議	介護・保健・医療・福祉などの関係者が地域の仕組みづくり・資源開発の検討や提案を行う
12月	地域ケア個別会議	個別ケースの課題解決するために多職種が集まり検討をする
1月	地域ケア個別会議	個別ケースの課題解決するために多職種が集まり検討をする
2月	地域ケア推進会議	介護・保健・医療・福祉などの関係者が地域の仕組みづくり・資源開発の検討や提案を行う
3月	地域ケア運営会議	関係機関の代表者レベルが集まり、地域課題を明確化し解決に向けた検討や決定を行う。政策提言に向けた提案を行う

6. 職員会議

	会議名	内容等	開催日	参加者
1	包括内ミーティング	当月の行事や事業など関係事項の周知や役割分担。研修内容の伝達や各種事案の検討など	月1回	全職員
2	地域福祉センター職員会議	理事長及び各部署などからの連絡や関係事項の周知、各種事案の検討など	月1回	全職員

7. 外部研修（前年度研修を参考にしています。）

月	研修名	内容	開催地
5月	青森県認知症施策市町村等セミナー	青森県内認知症施策関係者が一堂に会し、認知症施策について共有し、施策の推進を図ることを目的として市町村における認知症施策に係る活動報告、職能団体と市町村の連携に関する情報共有・情報交換を行う	青森市
6月	青森県地域包括・在宅介護支援センター協会会員研修	地域包括支援センターと在宅介護支援センターの今後のあり方について今一度理解を深め、青森県の地域の実情に合った地域包括ケアシステム構築の一助とする	青森市
7月	青森県介護支援専門員専門研修Ⅰ	介護支援専門員として就業をしている方に対して、一定経験をもとに必要に応じた専門知識、技能の習得を図り、介護支援専門員としての資質や専門性を高める	青森市
9月	青森県介護支援専門員専門研修Ⅱ	同上	青森市
11月	権利擁護・成年後見制度セミナー	市町村並びに専門職が地域における成年後見制度利用促進に向けた体制整備に向け共に考える機会とする	青森市
	地域包括支援センター職員研修	地域包括支援センターに勤務する職員が、地域包括支援センターの意義・役割、その他の業務、他の専門員との連携等について理解し、業務を行う上で必要な知識の習得及び技術の向上を図り、地域包括支援センターの適切な運営を確保する	青森市
1月	認定調査従事者現任者研修	市町村から認定調査の委託を受け、現に認定調査に従事している介護支援専門員が認定調査の研修を行う	青森市
2月	青森県介護予防支援従事者研修	介護予防支援事業所において、介護予防支援の業務に従事する者がアセスメントを実施し、介護予防ササピス計画を作成できるよう必要な知識の習得及び技術の向上を図り、適切な介護予防支援の提供を確保する	青森市
その他	地域包括支援センター業務に必要な知識の習得、相談援助の向上を目的とする研修に参加予定		

8. 内部研修（地域福祉センター勉強会担当職員が企画した研修に参加する）

月	研修名	内容	講師
地域福祉センター勉強会担当者が企画した研修に参加する			